

谷村第一小学校・都留文科大学附属小学校統合 保護者、住民等説明会概要

日時 令和8年2月17日（火）午後7時～午後8時

場所 まちづくり交流センター4階大ホール

参加者：谷一小学校区 12人 附属小学校区 19人 計 31人

教育委員会出席者

大竹教育長、亀田教育次長、渡邊学校教育課長、相川学校教育課長補佐、矢嶋教育企画推進室長、三浦指導主事、河野学校教育担当リーダー、小坂教育企画推進室リーダー

教育委員会から統合準備委員会で審議されてきたスクールバスの運行、統合後の学校の名称等について説明後に質疑応答が行われた。

質疑応答

（質疑）スクールバス、帰り（下校）はどうか？

（応答）基本的には、乗る場所と同じ場所。帰りは学年により時間が異なるため、2便、3便を考えている。現在運航している学校も、2便、3便設定している。

（質疑）学童はどのようになるか？

（応答）統合後も当面の間は存続の予定。ただし、場所については近隣に変更になる可能性もある。

（質疑）学童をそのままの事だが、校舎の学童部分だけが開いていることになるか？そうすると、バスを降りてから教室まで、防犯上のことはどうか？

（応答）旭小では、バス到着時間に学童のスタッフが迎えに行っていた。この場で申し上げられないが、同じような形になるかわからないが、安全は確保したい。

（質疑）スクールバスは、児童が休む場合はどこかに連絡するのか？

（応答）現在、バス通学を導入している学校では、休みの連絡は、スクリレを使っており、それが入ると学校よりバス会社に連絡する体制となっている。

（質疑）バスについて、児童がバスに乗った情報はどうやって知ることができるのか？

（応答）学校についての段階で把握できるが、乗ったか乗らないかをタイムリーに確認することは難しいと思われる。ただし、統合後しばらくは教職員がバスに同乗し、安全対策をとる。その間は、乗っている先生方がすぐに把握できる。

（質疑）ルートはこれから決めると思われるが、一番最初の子どもが乗る時間はどうか？つく時間はどうか？

（応答）細かい時間はバス事業者と調整するため、まだ定まっていない。ただし、8時過ぎには学校につくように考えている。また、バスに乗ってから学校までそこまで時間がかからないと思われる。

（質疑）要望だが、権現原団地が数年で1人になる。団地の方へもバスの乗り入れを

考えていただけるか？

(応答) 検討したが、現状ではマイクロバス以上のサイズの車両での運行を想定していることから、道が狭いため県道沿いをルートとして設定している。ただし、今後児童数が減る中で、小さい車両での運航となれば、将来的には権現原までという考えもある。

(質疑) どれ(いつ)ぐらいになるか？

(応答) 権現原から谷一小に通っている子どももいる。その子どもたちと一緒に登校班となる。利用する子どもが複数名いれば、設定された乗降場所まで徒歩で行ってもらいが、登校班が一人になってしまう場合は話し合いたい。

(質疑) 来年度の附属小でバスに乗っていく生徒は、何人いるか？

(応答) 場合によっては20人を切る可能性もある。

(質疑) 実人数に見合う車両を導入するなどして、できる限り子ども達の安全を確保できないか。細野だと回転する場所がない。子供がいないので菅野まで行くことはないと思う。できるだけ小さい車両でなければならないと思うがいかがか？

(応答) 最終的には運行事業者との調整となる。できる限り小さい車両とできるか、協議したい。

(質疑) 校名について、案2だと都留文科大学附属が消えるイメージであるが？

(応答) 一般的に学校の名称を言う場合に、案2の場合は都留文科大学附属は言われない。略称も、谷一小となる。なお、条例に定める名称(正式名称)では、都留文科大学附属は残る。

(質疑) 附属小を継承という話があったが、説明資料の旗は谷一だが？

(応答) 谷一小のものを継承することを前提とした案としている。附属小の校旗を取り入れる場合、「谷村第一」が無いため、新しく作り直すことになる。

(質疑) 新しく作り直す考えはあるか？

(応答) 皆さんの意見を聞いた中で、統合準備委員会で検討していく。資料では案1の校名ではとしているが、変更もあり得ることを理解いただきたい。

(質疑) スクールバスについて、県道沿いで乗降場所を設定しているが、八幡橋から中小野の方に運行できないか？乗る人数は多いと思われ、安全面でもいいと思う。

(応答) 専門部会で実際に通っている児童を地図に落とし込み、中小野ルートも検討したが、道幅が狭く今の段階で想定される車両での運行は難しいと判断した。

(要望) 小さい車両の使用を検討し、同時にルートについても再考いただきたい。

(質疑) スクールバスについて、行きは乗りたいが帰りは異なる方法で帰らせることは可能か？

(応答) 旭小の例だが、帰りのバスは、教職員がバス停まで付き添い、バスに乗ったことを確認している。混乱のもとになるため、保護者より本日は異なる方法で帰ることをあらかじめ連絡していただきたい。

(質疑) 今後、2校の子ども達の統合に向けての交流プログラムを教えてください。

(応答) 今後、具体的に企画したい。この2月3月で両校の先生に協力いただき、企画していく。内容が固まったら、みなさんに示したい。

なるべく多くの交流事業を行い、統合後にスムーズに友情関係が結べるよう対応したい。

(質疑) 統合に一番ストレスを抱えるのは子ども達。プログラムを話し合っていくとのことだが、大人の視点だけでなく、子どもによる企画などはないのか？企画に子どもが関わっていないのか？プログラムを企画する際は、そのような視点も入れていただきたい。

(応答) 事業計画の際には、子ども達へのアンケートなど、子どもの声を聴きながら丁寧に対応したい。

(質疑) バスについて、現状、バスに乗る子は附属小から谷一小に行く子どもだけか。附属小学校区から谷一小に行っている子どもも含めるのか？

(応答) 附属小学校区内であれば、対象とする。

(質疑) 休み中のバスの運行はどうか？

(応答) 既にバスを導入している学校では、長期休業期間中も、フォローアップ事業等の時はスクールバスを運行させている。また、図書室など、期間を定めた中で運行している。

(質疑) その場合、バス利用について先に連絡をするのか？

(応答) 準備委員会や学校の先生と協議し、決定していく。現時点では申し上げられないが、子どもや保護者の意向に沿った運行としていきたい。

その後の説明

アンケート用紙に意見をいただきたい。